

特報「KUWATA CUP 2020」の開催が決定!!

桑田佳祐 & The Pin Boys
2019年大会に続き、
KUWATA CUP 2020テーマソング
新曲制作決定!!

みんなのボウリング大会!
KUWATA CUP 2020 開幕!!

全国47都道府県の500センターをいつでも予選会!!!

TOP OF SPORTS FOR LIFETIME
KUWATA CUP 2020
みんなのボウリング大会
NATIONAL CHAMPIONSHIP
BOWLING TOURNAMENT

全国予選会
アマチュア部一部門
2019.10.11～2020.1.13 @ 500センター

プロ部一部門
2019.11～ @ 500センター

みんなの桑田賞
KUWATA CUP 2020 オフィシャルソング

優勝賞・旗
アマチュア部一部門・プロ部一部門・ジュニア部一部門
2020.2.22～2.23 @ 渋谷・ヒカリエホール特設レーン

詳しくは KUWATA CUP 2020 情報サイトをご覧ください。 <http://kuwatacup.jp/2020/>

▲大会の告知ポスター。すでに全国のセンターに掲示されている

第2回大会の正式名称は、「KUWATA CUP 2020～みんなのボウリング大会～」。年齢性別、腕前の如何を問わず、誰でもどこでも参加できるのがこの大会最大の特長で、全国47都道府県の約500センターで11月にアマチュア部門の予選会がスタートした前回の参加者は延べ3万人超に達した。今回はすでにハウスボウラー対象の予選会が10月1日から始まっており、ジュニア枠(小学生)、一般枠(中学生以上)に加えてシニア枠(20年1月13日時点で満60歳以上)が新設されたことで、参加者の大幅増が期待される。

競技ボウラー部門(小学生以上のマイボウラー対象)の予選会は11月にスタートの予定。こちらも前回より開催センターや期間の幅を拡大し、参加機会を増やす改善がなされている。その後、都道府県大会を開催して本大会(20年2月20～22日@品川プリンスホテルB/C、東京ポートボウル)出場者を選出。各部門の男女上位4名がプロボウラー部門(開催要項未発表)の同上位者とともに決勝大会(同2月22～23日@渋谷ヒカリエホール特設レーン)のヒノキ舞台に立つことになる。

ちなみに、前回の決勝大会で

は桑田氏自らが始球式や開会宣言を行ったほか、プロの優勝決定戦前に俳優・村田雄浩氏とコンビを組んで女子プロペア(姫路麗&名和秋)とエキシビジョンマッチで対戦。グランドフィナーレでは自作の大会テーマソング「レッツゴーボウリング」をライブで熱唱し、会場を大いに盛り上げてくれた。

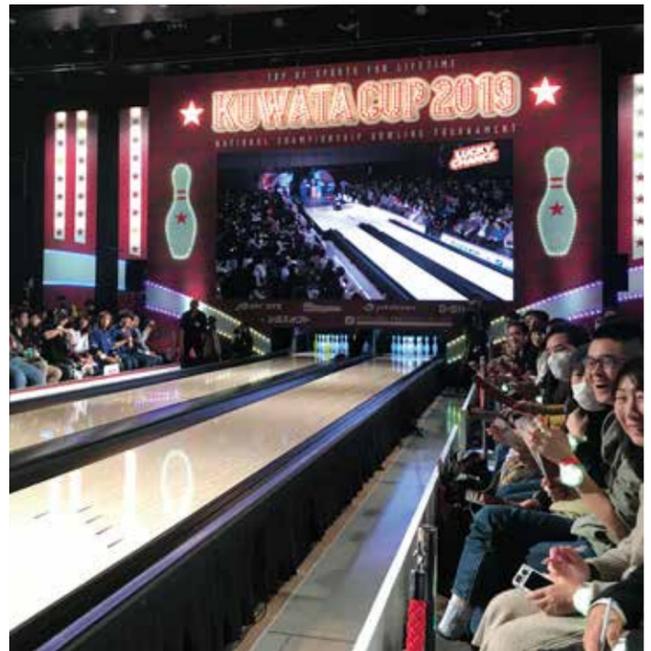
画期的かつ華やかな趣向に彩られた同大会の成功は、大型センターの相次ぐ閉鎖で冷え込むボウリング界に温かな新風を吹き込み、右肩下がりがだった来場者数も回復基調に転じた。今回も業界を挙げて大会を成功に導くことが、あらゆる意味合いで「ボウリング復興」の契機となるだろう。

※その他の詳細や大会要項は下記サイトや公式SNSにてご確認ください。

- 公式サイト <http://kuwatacup2020.jp/>
- 公式ツイッター https://twitter.com/KUWATA_CUP
- 公式フェイスブック <https://www.facebook.com/KUWATACUP/>
- 公式インスタグラム <https://www.instagram.com/kuwatacup/>

誰でもどこでも参加できる「みんなのボウリング大会」がさらにスケールアップ!

昨年度、ボウリングをこよなく愛する音楽界のスーパーstar・桑田佳祐氏が自ら旗振り役となって実現にこぎ着け、業界内外に感動の嵐を巻き起こしたオールカマーのボウリング大会「KUWATA CUP」。全国のボウリングファンが待ち望んでいた第2回大会の開催が先ごろ正式決定し、9月25日に情報が解禁されるや否や、SNS等で瞬く間に拡散して大きな話題となっている――。



▲前回決勝大会の会場風景。まるで本場PBAのような華やかさだった(2018年2月10日、渋谷ヒカリエホール)

桑田佳祐氏のコメント

このたび、多くの方々のご尽力を頂きまして、昨年度に引き続き、「みんなのボウリング大会 KUWATA CUP 2020」を開催できることとなりました。

ボウリングを愛する一ファンとして、大変嬉しく思っております。関係者の方々に深く感謝申し上げます。

昨年度、私は「自称：コミッショナー」として、KUWATA CUP決勝の舞台にも上がらせて頂き、そこで白熱した試合を拝見いたしました。ご参加頂いた選手の皆様の熱量、一投毎にほとばしる緊張感、そしてお集まり頂いた観客の皆様の興奮や歓声を肌で感じ、大いに感動いたしました。

今年度も、そんな大会が開催されることは、本当に夢のような話だと思っております。

「ボウリングは大人から子供まで楽しめる『生涯スポーツ』であり、レジャーであり、天候にも季節にもまったく影響されない国民的アクティビティであ

る。」
日々、ボウリングをプレイする中で、その思いはさらに強くなるばかりです。

私が健康でいられるのも、全国各地を巡らせていただいたツアーを始め、音楽活動に勤しむことができるのも、このボウリングがあってこそなのだ、日々のボウリングライフの中でひしひしと感じている今日この頃です。(何を隠そう、最近ではアヴェレージ週3回ボウリング場に足を運んでおります(笑))

ボウリングを通じ、世代を越えたコミュニケーションが生まれたり、全国各地が元気になるきっかけにこの大会がなればこの上ない喜びです。みなさん、一緒にボウリングで盛り上がりましょう!

“ねえ、ダーリン。私をボウリング場に連れてって”
オレでいいなら!!

桑田佳祐

<原文ママ>



▲女子プロ部門優勝の中野麻理子プロ(45期)。最高の大舞台での初タイトル獲得だった